

胃がん検診を受けられる方へ

受診の前に必ずお読み下さい！

『検査の前に』

◆食事◆

前日：前日夜は9時までに食事を済ませましょう。その後、お水は飲んでも構いません。ただし、アルコールの摂取は控えてください。

当日：朝食はとらないようにしてください。

お水は検査2時間前までにコップ一杯程度(200ml 以内)でしたら飲んでも差し支えありませんが、お茶・コーヒー・牛乳などは避けてください。たばこは検査が済むまで控えてください。



◆服薬◆

心臓病・高血圧で薬を服用されている方は、検査開始の2時間前までに、200ml 以内の水(白湯)で飲んできてください。

糖尿病の方は、検査当日の朝、薬の服用やインスリン注射はしないでください。

検査後をお願い致します。低血糖状態による検査は危険をとまなうため検査できません。

*それ以外の内服薬に関しては、主治医に確認のうえ、検査前に内服してもよいかまたは、検査後に内服するかの指示を受けてください。



◆服装◆

Tシャツやジャージなど検査の受けやすい服装で受診してください。

金具やボタンのついた服や下着、湿布、エレキバン、カイロ、ネックレス等はずしてお受けください。



◆他◆

授乳中の方は係員に申し出てください。専用の下剤を処方致します。

『検査について』



バリウム製剤を使用した検査です。

初めに、発泡剤とバリウムを飲みます。ゲップが出やすくなりますが、検査終了までゲップは我慢してください。

胃の粘膜にバリウムを付着させ撮影していきます。そのため、撮影台の上で体を左右に回したり動かしたり、頭部を下げるなどの体位があります。胃がんの早期発見には良い写真を得ることが不可欠です。ご協力をお願いします。

『検査が終わったら』

◇下 剤◇ 下剤を処方します。すぐに飲んでください。便秘症の方または、以前の検査でバリウム排泄が困難だった方は、お申し出ください。多めに下剤を処方します。

◇食 事◇ 水分を多くとり、野菜などの繊維質の多い食事をとってバリウムの排泄を促してください。便意がなくてもこまめにトイレに行くようにしてください。

◇排 便◇ 通常、2～6時間で下剤の効果があらわれます。白っぽい便が出ますが、バリウムなので心配ありません。翌日になっても便が出ず、腹痛などの症状が出たら直ちに医療機関を受診してください。



◇過敏症◇ バリウム服用の際に副作用で過敏症(アレルギー症状)が現れる方がいます。検査後、じん麻疹・呼吸困難・手足が冷たくなる・気分が悪い等の症状が現れた場合は、直ちに医療機関を受診してください。



裏面も必ずお読みください。



※禁忌事項！

下記の項目(病気や症状等)にあてはまる方は今回、検査を受けることができません。

安全性を優先させ、かつ精度の高い検診を行う上で危険性を伴うような方に対して、事故を未然に防ぐための重要な項目です。ご理解をお願い致します。

項目	詳細	説明
妊娠 	妊娠中・疑い・不明	胎児への安全性を考慮して今回は受診できません。
アレルギー	バリウム製剤またはその他の造影剤に対する過敏症	アナフィラキシーショックを起こす恐れがあり受診できません。
消化管疾患既往	穿孔・腸閉塞・腸捻転	重篤な合併症を引き起こす恐れがあり受診できません。 
消化管疾患治療中	食道・胃・十二指腸 大腸の治療中	潰瘍、急性胃炎などの程度により穿孔や病状の悪化を招く恐れがあるため、今回は受診できません。
手術 (1年以内) 	消化管疾患※ ¹ 呼吸器疾患 心疾患 頭部(脳外科疾患) 運動障害	術後1年以内の方は、安全を考慮して今回は受診できません。 1年以上経過された方は、次回の検診時までにかかりつけ医師にご相談のうえ許可を得て受診して下さい。 ※1：胃・大腸ポリープ切除術も含まれます。
	胃全摘	手術により胃を全摘されている方は、この検査には適しません。 病院での内視鏡検査等をおすすめします。
発作 (1年以内)  	心疾患 (心筋梗塞など) 脳障害(脳梗塞など)	1年以内に発作のあった方は、安全を考慮して今回は受診できません。 1年以上経過された方は、次回の検診時までにかかりつけ医師にご相談のうえ許可を得て受診して下さい。
シャント	脳圧亢進シャント中	シャントを使用されている方は、安全を考慮して受診できません。
水分制限 	腎疾患(人工透析) 心疾患(心不全)	水分制限のある場合、バリウム排出困難により重篤な合併症を起こす恐れがあり受診できません。
誤嚥※ ² 	誤嚥の経験あり	誤嚥による肺炎など重篤な合併症の可能性を考慮して受診できません。 ※2. 「誤嚥(ごえん)」：唾液や食物、胃液などが気管に入ってしまうこと。脳血管障害などで嚥下(えんげ)障害[のみ込み障害]がある方は誤嚥をおこす危険性があります。
便秘症 	検査当日前より 3日間以上排便なし	バリウムの停滞、排出遅延により消化管穿孔などの重篤な合併症の恐れがあり受診できません。ただし、排便状況が改善すれば受診可能です。
人工肛門	人工肛門装着の方	装具の破損や重篤な合併症を起こす恐れがあり受診できません。
運動障害 	全身衰弱 自力での立位保持困難	自力で立位を保持することや、撮影台にあがるのが困難な方は、安全を考慮して今回は受診できません。
低血糖または糖尿病の方	血糖降下剤の服用 インスリン注射	当日に経口血糖降下剤を服用された方、インスリン注射をされた方は、低血糖発作の危険性がありますので受診できません。
体型 	体重 120 kg以上	撮影装置の安全基準を超えているため、今回は受診できません。
高血圧	180/110mmHg いずれか以上 (測定した場合の目安)	合併症を誘発する恐れがあるため、今回は受診できません。

※当日の体調や問診により、検診を受けられない場合があります。ご了承下さい。